

# OSAKA女性活躍推進事業【大阪府】

## 地域の実情と課題

- 大阪府内における産業構造  
府内に本社を置く企業の内、中小企業が占める割合は99.6%(約27.1万社)、うち小規模企業は83.8%(約22.8万社)
- 大阪府内における女性の就労状況・就業率  
大阪府の就業率(15~64歳)は、全国45位と低い状況。
- 女性ロールモデルの不足  
管理職・役員として第一線で活躍している女性が社内にはないことが課題である。女性活躍が進んでいない要因・・・女性ロールモデルの不足53.9%

## 事業の特徴

- 「OSAKA女性活躍推進ドーン de キラリ 2days」の開催  
女性活躍推進のホームグラウンドであるドーンセンターにおいて女性活躍推進に関連する様々な事業をOSAKA女性活躍推進月間(9月)に、2日間にわたり開催。
- ロールモデルに学ぶ！働く女性のスキルアップ研修  
社内にロールモデルや同じ立場の女性社員がいない企業に、女性のキャリアアップと、企業の枠を超えたネットワークづくりを支援。
- 「ライフデザインの描き方セミナー」の実施  
自分らしい「働き方・生き方」を選択できる能力を培うことのできるセミナーを、高校、大学で実施。(2カ所)
- 女性のためのSNS相談の実施  
コロナ禍で困難な状況におかれている女性からの相談に対応するため、SNSを活用した相談を実施。

## 事業の効果

- 女性の就業や男性の家事育児参加等について府民に意識啓発を行うことで、女性の就業環境の改善が期待される。
  - 役員や管理職として活躍する人から、部下育成やマネジメントのノウハウや、役職者として必要なスキルなどを学ぶことで、キャリアアップへの不安を解消し、役員や管理職をめざす人を増やすことが期待できる。
  - 生徒・学生向けの啓発事業を実施することで、生徒・学生が就職先企業の女性活躍推進の取組を重視するようになれば、企業側が女性活躍推進の必要性を認識し、ひいては社会全体の女性活躍推進に向けた機運醸成につながることを期待される。
- 【効果検証】「男女いきいき・元気宣言」登録事業者数 令和3年度末651社  
(令和2年度末585社。対前年 66社増)

## 目的・目標

- 事業の目的  
産学官等9団体が構成する「OSAKA女性活躍推進会議」と連携のもと、女性が輝く大阪の実現に向けて、企業の経営者や若者の意識改革にかかる啓発事業を充実・強化していく。オール大阪で女性の活躍推進に向けた機運醸成に努め、男女が持てる力を存分に発揮し、あらゆる分野で活躍できる元気な大阪をめざす。
- 目標・達成状況  
大阪府の女性の就業率(労働力調査・年平均)は、平成26年:44.8% ⇒ 令和2年:51.2%(6.4%上昇)と着実に上昇している。

## 連携団体

- OSAKA女性活躍推進会議  
構成団体:大阪商工会議所、大阪府、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団、大阪労働局、公益社団法人関西経済連合会、公益財団法人21世紀職業財団(関西事務所)、近畿経済産業局、日本労働組合総連合会大阪府連合会、特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム
- 大阪府男女共同参画推進ネットワーク
- 大阪府「女性活躍推進庁内連携会議」

## 今後の課題

- 大阪府の女性の就業率は、着実に上昇しているものの、全国45位であり依然として低い。
- 管理的職業従事者に占める女性割合も全国平均を下回っているため、引き続き企業への働きかけが必要。また、就業している若い世代や、就業前の生徒・学生をターゲットとした男女の性別役割分担意識改革に係る事業が引き続き必要。

# 事業の概要

## ●OSAKA女性活躍推進 ドーン de キラリ 2days 2021 (令和3年9月3日・4日)

女性活躍の応援イベントとして「大阪府男女いきいき表彰」の受賞企業による事例発表や府民向けトークイベントをはじめ各種セミナーや相談会、合同企業説明会などを展開。

一部事業についてはWEB配信にて実施。

参加者は1,559人(WEB:1,516人、来館:43人)



## ●ロールモデルに学ぶ!

### 働く女性のスキルアップ研修(2回)

女性の役員・管理職登用を促進するため、

「大阪府男女いきいき表彰」

受賞企業の社員や

「大阪サクヤヒメ表彰」

(大阪商工会議所が実施)

の受賞者がロールモデルとして

出演するセミナーを実施。女性の

キャリアアップと、企業の枠を超えた

ネットワークづくりを支援。

①10/11(参加者30人)オンラインのみ

②2/17(参加者36人)オンラインのみ



## ●ライフデザインの描き方セミナー

### (2カ所)

社会人ロールモデルによる体験談の

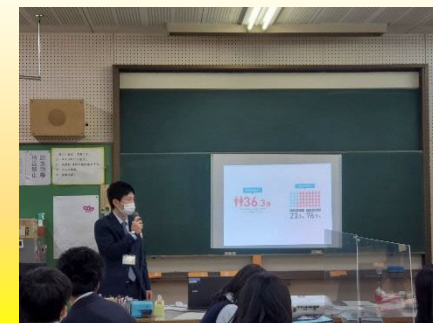
発表やグループワーク等を実施。

「働き方・生き方」について理解を深めて

もらうとともに、就業への意欲を高めても

らうセミナーを、高等学校1校、大学1校

で実施。(参加者 計63人)



## ●女性のためのSNS相談

コロナ禍で増大する離職問題、健康不安、生活不安、DV、性暴力被害など、困難な状況におかれている女性からの相談に対応するためSNSを活用した相談を6~8月の間に計12回実施した。